

前回指摘事項とその確認結果

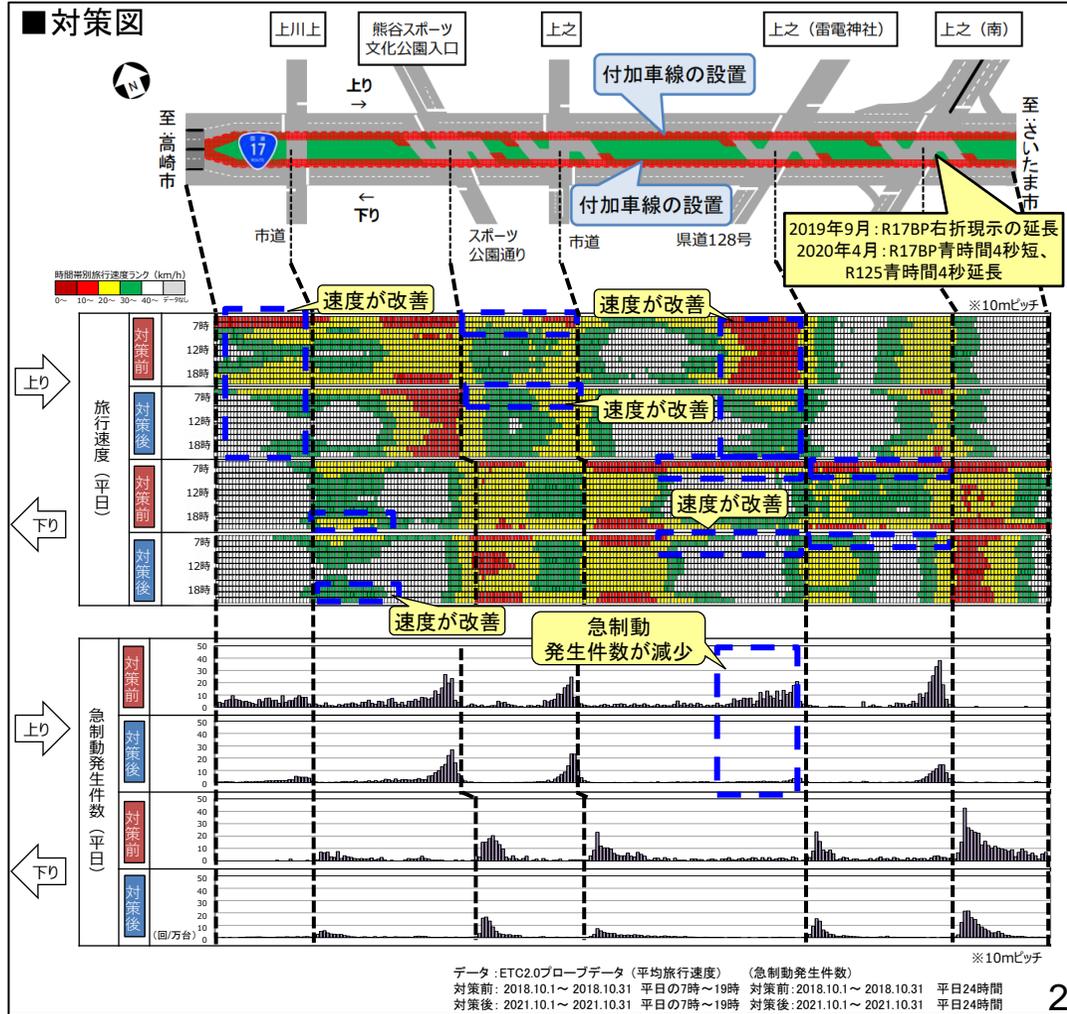
令和4年 8月 23日

No	指摘事項	確認結果	関連資料
1	上之地区交差点改良事業の効果検証について、ラグビーワールドカップや施設の大型工事によるトラックの出入り等による影響があったと思われるため、考慮して追加の検証をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 改良前と、改良後のラグビーワールドカップや周辺施設の大型工事が完了した2021年10月を比較して効果検証を実施。 上之交差点や上之(雷電神社)交差点流入部の速度が改善していることを確認した。 	資料1-1
2	<p>Go Toトラベルキャンペーンで自家用車の増加や、観光バスが減ったなど交通状況に変化が見られた地域があった。そのような地域を対象とした分析も検討して頂きたい。</p> <p>県をまたぐ移動の自粛要請もあったため、流動の変化という視点での分析も検討して頂きたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県内の物産観光関係者、バス事業者にアンケート調査を実施し、観光バスでの来店が減少し、自家用車での来店が増加したというご意見などを確認した。 新型コロナウイルス感染拡大前後の期間で、流動分析を実施。感染拡大後は、県をまたぐようなトリップの割合が減少していることを確認した。 	資料1-2
3	国道17号(現道、バイパス区間)は埼玉県内の大動脈であるため、高速道路の延伸など抜本的な渋滞対策が必要と考えている。国道17号の埼玉県内区間の渋滞発生状況を整理して他都県区間と比較し、課題が大きい路線なのかわかるような整理があると良い。	<ul style="list-style-type: none"> 損失時間上位の埼玉県区間(国道17号)は、「上尾市役所前交差点～久保交差点」、「円阿弥(北)交差点～三橋二丁目交差点」の2区間。 並行区間では、新大宮上尾道路(専用部)の事業が進んでいる。 	資料1-3
4	各主要渋滞箇所のボトルネック性の整理と併せて下流側交差点の交通容量の確認等を行い、効率的かつ効果的な対策実施の実現に向けて検討を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 対策予定箇所の小谷田交差点、大袋新田交差点を対象に、対策後に下流側の交差点にボトルネックが移動する可能性を整理。 対策箇所の交通容量より下流側の交通容量が大きいため、ボトルネックが移動する可能性は低いことを確認した。 	資料1-4

資料1-1:上之地区交差点改良の効果再検証

対策箇所:国道17号熊谷バイパス(熊谷市) 上之地区交差点改良<R1年8月対策済>

- 対策内容:追突事故の削減を図るために、付加車線を設置。(上之(南)~上川上交差点間の付加車線(4→6車線))
- 対策前と、ラグビーワールドカップや周辺施設の大型工事が完了した2021年10月を比較して効果検証を実施。
- 上之交差点や上之(雷電神社)交差点流入部の速度が改善。



資料1-2:コロナ禍における交通状況分析

- 埼玉県内の物産観光関係者、バス事業者にアンケート調査を実施し、交通手段や利用者数の変化を確認。
- 観光物産関係者の約7割が観光バスでの来店が減少、約4割が自家用車での来店が増加したという回答を確認。
- バス事業者からは、各種行事などのキャンセルによって稼働が減少したという回答を確認。
- 交通流動分析より、新型コロナウイルス感染拡大後は、県をまたぐ交通(県内⇔県外の移動)の割合が減少したことを確認。

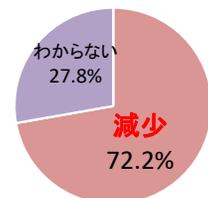
■アンケート調査(物産観光関係者、バス事業者)

物産観光関係者

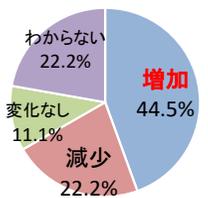
【主なご意見】

- ・ツアーバスによる来客が極端に**減少**した。
- ・観光客は**減少**したが、近隣客や常連客に**変化はなかった**。
- ・観光バス、鉄道、路線バスの来訪者が**減少**し、自家用車利用客は**増加**。
- ・キャンプ、バーベキューができる区域の利用者はコロナ禍にしては**多い**印象。

観光バスでの来店者の変化(N=18)



自家用車での来店者の変化(N=18)



(物産観光関係者のアンケートより)

バス事業者

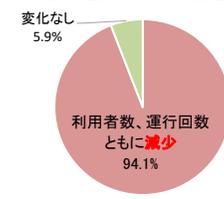
【主なご意見】

- ・川越市内路線では客層が変化(高齢者から若年層の観光客)した為、路線バスの利用が**減少**。
- ・貸切バスでは各種行事のキャンセルにより、稼働が**減少**。
- ・学校行事は、県外に長期間行く機会が減り、川越(小江戸)などに日帰りで行く機会が**増えた**。

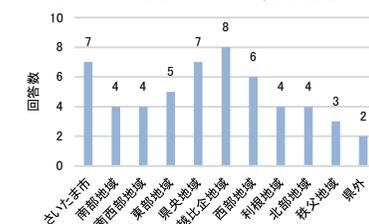
【少数意見】

- ・秩父や長瀬(荒川ライン下り)等、郊外施設への観光需要が**増加**。

利用者数と運行本数の変化(N=17)



利用者数が減少した地域(N=17,複数回答可)



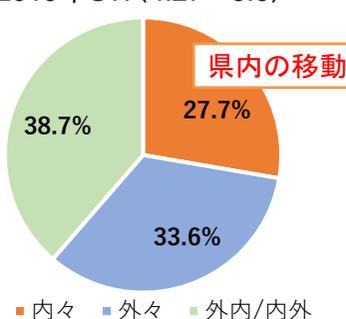
(バス事業者のアンケートより)

■交通流動分析(ETC2.0プローブデータ)

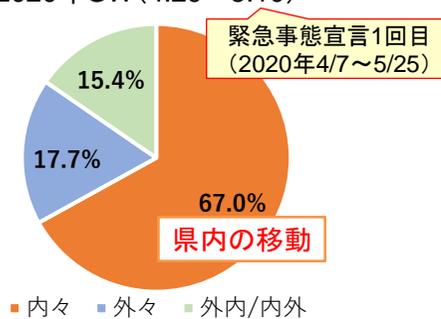
- ・新型コロナウイルス感染拡大前後のゴールデンウィーク期間を対象に県をまたぐ交通、県内の交通の割合を整理。



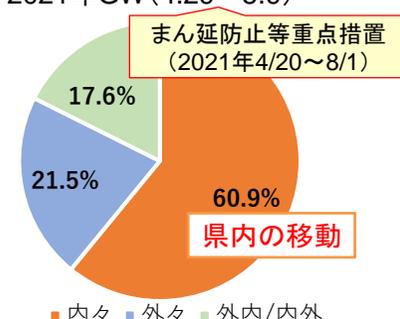
2019年GW(4.27~5.6)



2020年GW(4.29~5.10)



2021年GW(4.29~5.9)



データ:ETC2.0プローブデータ 様式1-2

期間:2019年4/27~5/6、2020年4/29~5/10、2021年4/29~5/9)、対象車種:乗用車 3

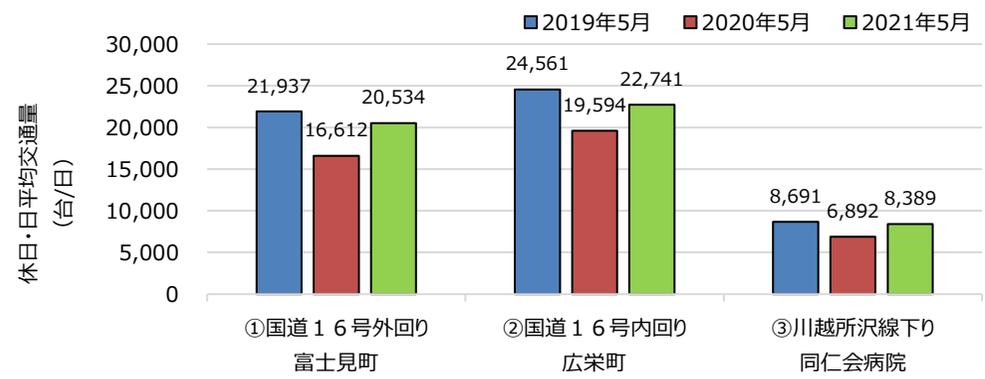
コロナ情勢に伴う交通状況分析(川越周辺)

○2020年5月は、新型コロナウイルス感染者数が増加した時期であり交通量は減少、速度は上昇した。
○2021年5月は、2020年5月よりも交通量は増加、速度は上昇し、2019年5月と同程度の水準であった。



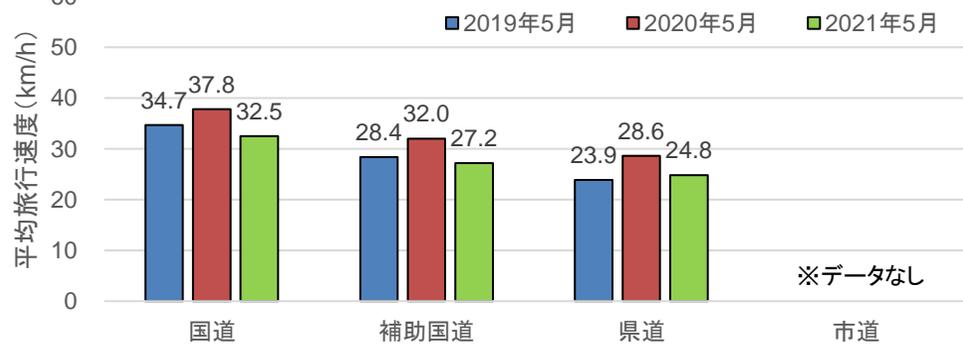
データ:ETC2.0プローブデータ 様式2-4(休日)
データ期間:2019年5月(休日)、2020年5月(休日)、2021年5月(休日)屋間12時間

休日交通量の経年変化



データ:日本道路交通情報センター 断面交通量情報
分析条件:対象月の休日でデータ取得率95%以上の箇所を抽出

道路種別別の平均旅行速度

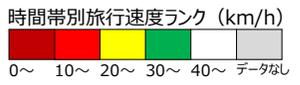
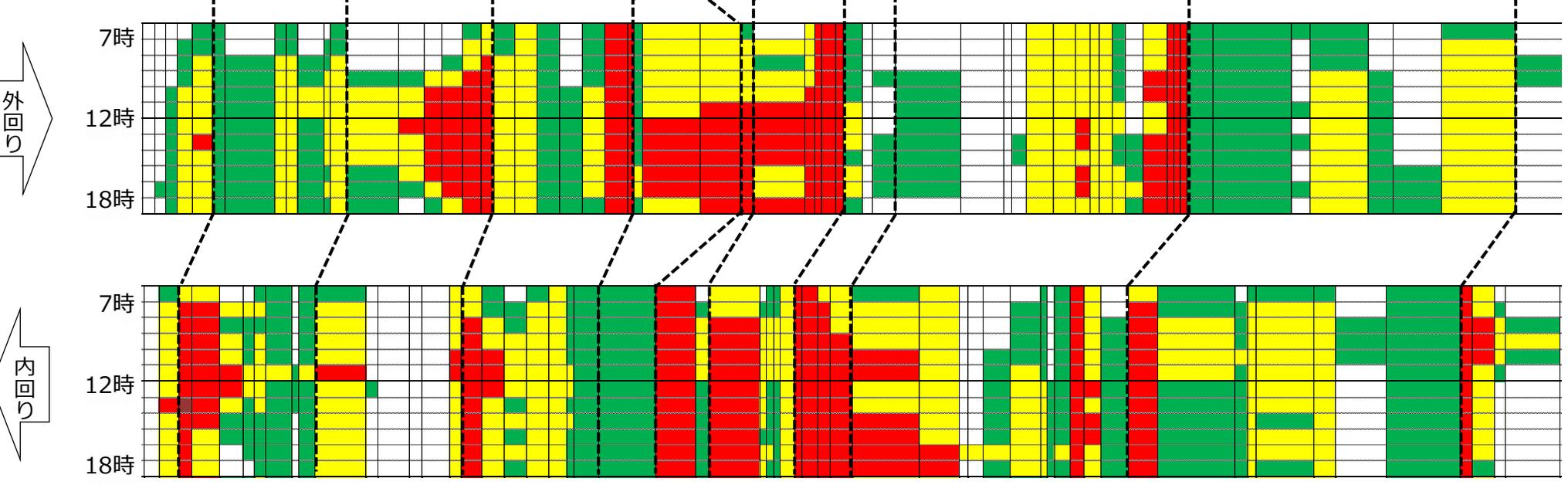


※川越北環状線の開通は、2019年3月24日(日)

データ:ETC2.0プローブデータ 様式2-4(休日)
データ期間:2019年5月(休日)、2020年5月(休日)、2021年5月(休日)屋間12時間

コロナ情勢に伴う交通状況分析(川越周辺・国道16号)

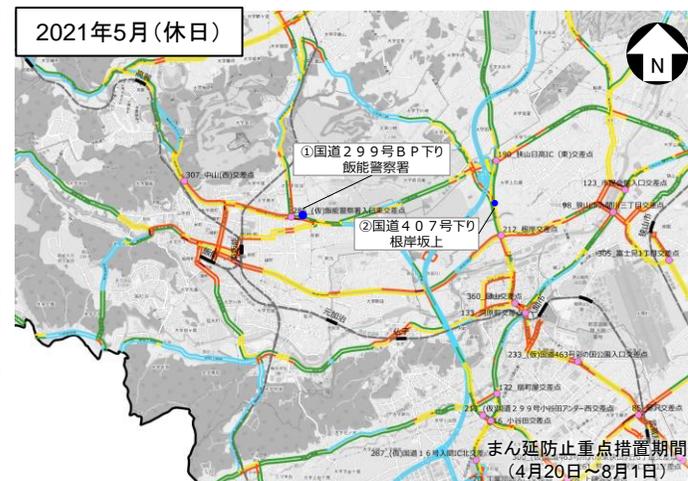
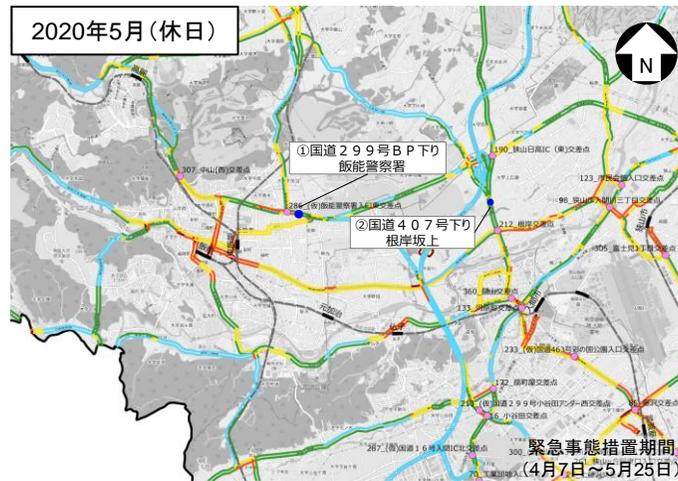
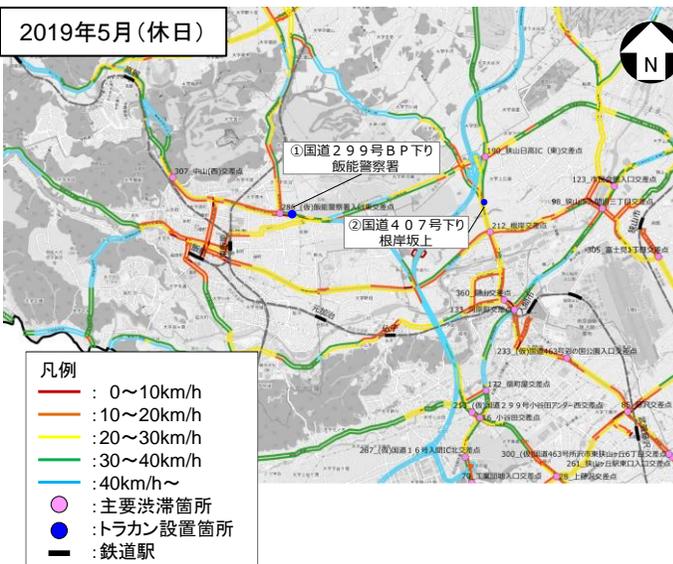
○外回り(休日)は、小仙波(東)交差点や新宿町北交差点～脇田新町交差点などで速度低下が発生している。
○内回り(休日)は、大袋新田交差点や旭町一丁目交差点～新宿町北交差点などで速度低下が発生している。



データ: ETC2.0プローブデータ 様式2-4(休日)
データ期間: 2021年5月(休日) 昼間12時間

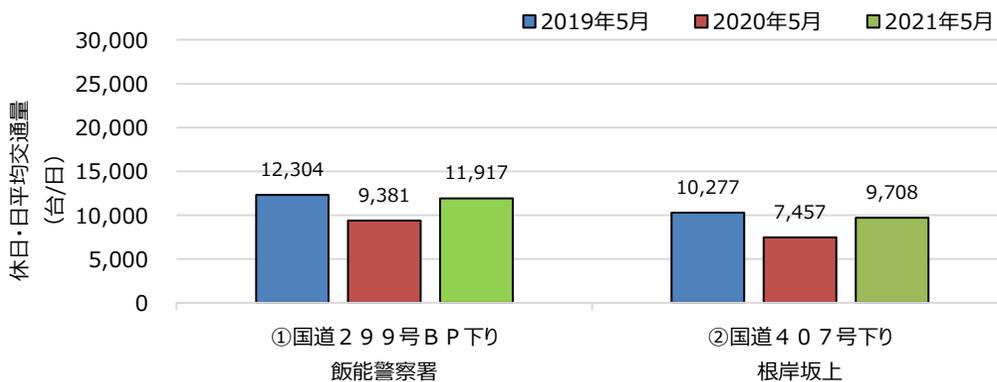
コロナ情勢に伴う交通状況分析(飯能周辺)

○2020年5月は、新型コロナウイルス感染者数が増加した時期であり交通量は減少、速度は上昇した。
○2021年5月は、2020年5月よりも交通量は増加、速度は上昇し、2019年5月と同程度の水準であった。



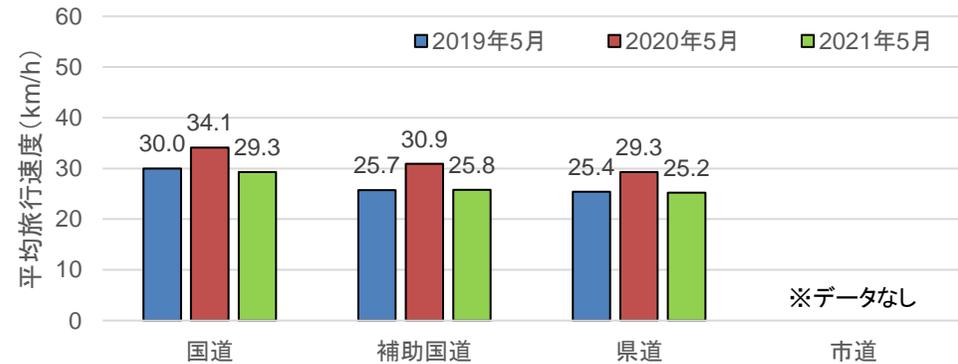
データ:ETC2.0プローブデータ 様式2-4(休日)、
データ期間:2019年5月(休日)、2020年5月(休日)、2021年5月(休日)昼間12時間

休日交通量の経年変化



データ:日本道路交通情報センター 断面交通量情報
分析条件:対象月の休日でデータ取得率95%以上の箇所を抽出

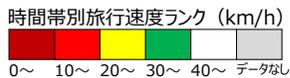
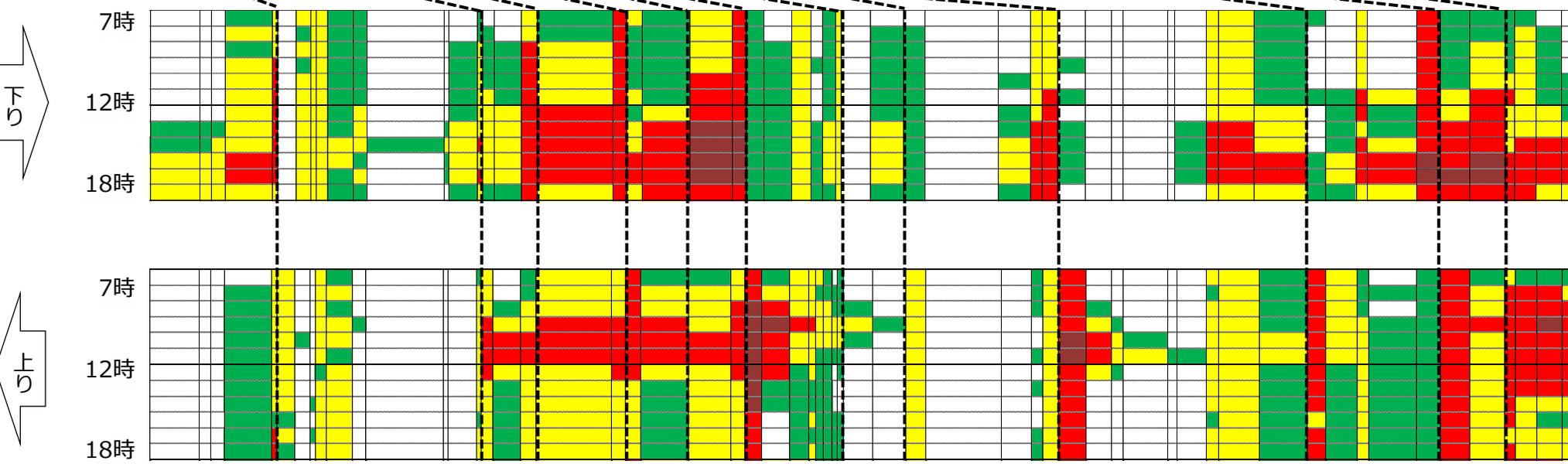
道路種別別の平均旅行速度



データ:ETC2.0プローブデータ 様式2-4(休日)、
データ期間:2019年5月(休日)、2020年5月(休日)、2021年5月(休日)昼間12時間

コロナ情勢に伴う交通状況分析(飯能周辺・国道299号)

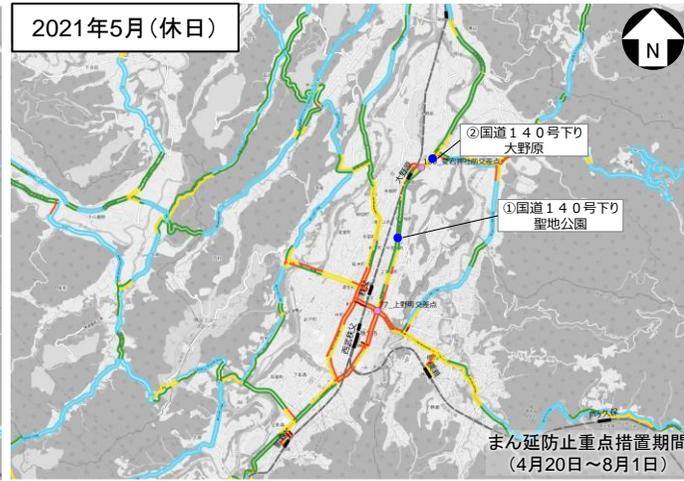
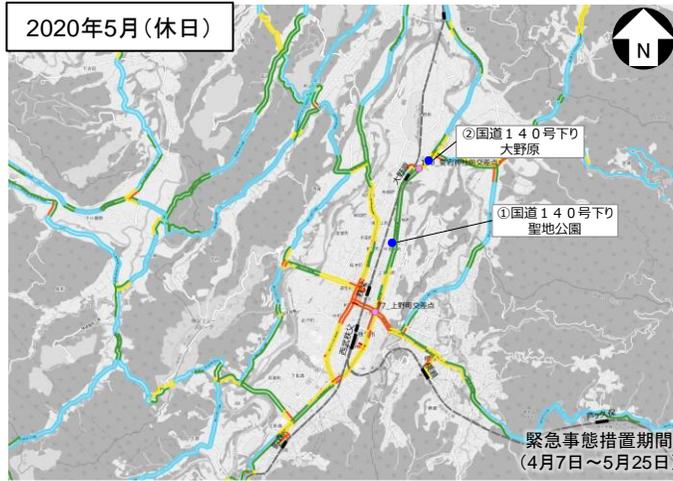
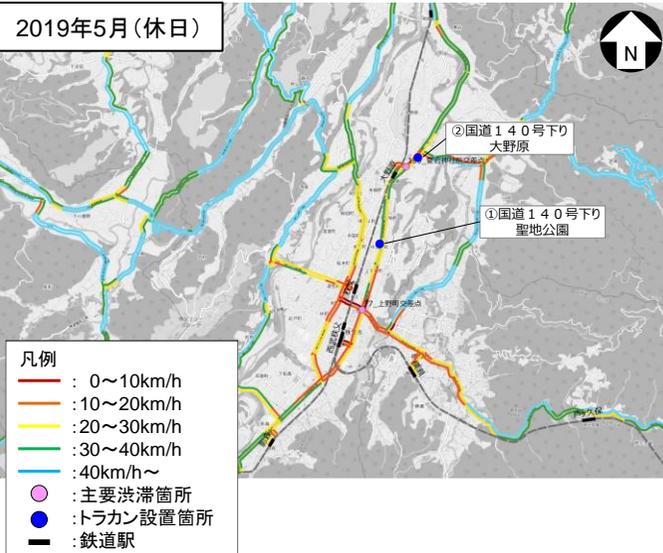
○上り(休日)は、広域飯能斎場前交差点～(仮)飯能警察署入口東交差点などで主に昼の時間帯に速度低下が発生している。
○下り(休日)は、(仮)飯能警察署入口東交差点～中山(西)交差点などで速度低下が発生している。



データ:ETC2.0プローブデータ 様式2-4(休日)
データ期間:2021年5月(休日)昼間12時間

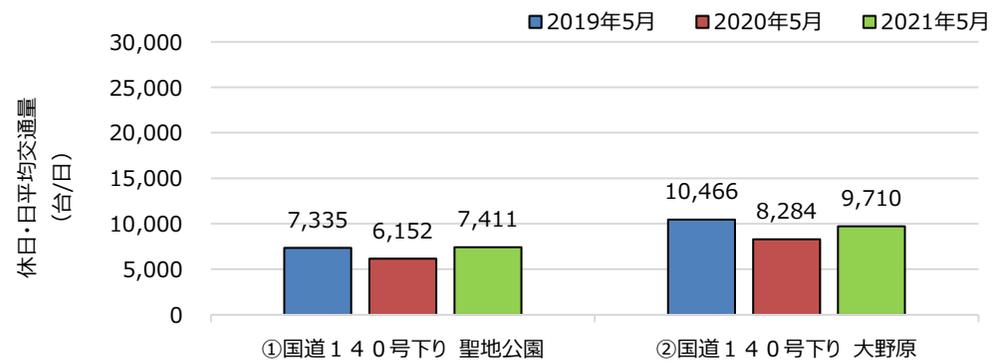
コロナ情勢に伴う交通状況分析(秩父周辺)

○2020年5月は、新型コロナウイルス感染者数が増加した時期であり交通量は減少、速度は上昇した。
 ○2021年5月は、2020年5月よりも補助国道では速度が向上している傾向にあるが、県道では変動がほとんどない。



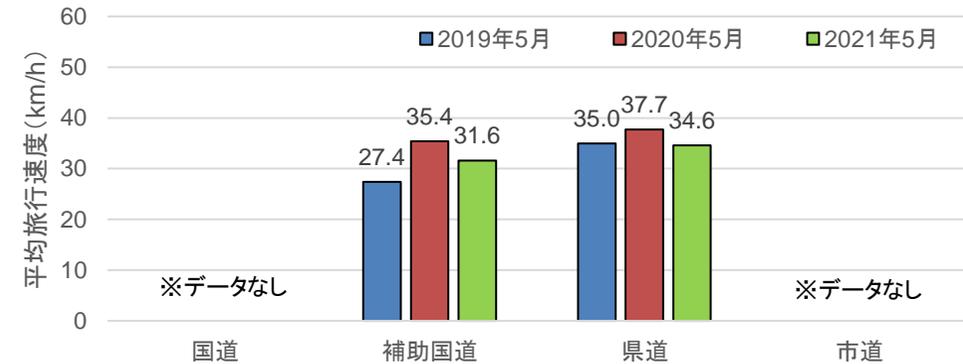
データ:ETC2.0プローブデータ 様式2-4(休日)
 データ期間:2019年5月(休日)、2020年5月(休日)、2021年5月(休日)昼間12時間

休日交通量の経年変化



データ:日本道路交通情報センター 断面交通量情報
 分析条件:対象月の休日でデータ取得率95%以上の箇所を抽出

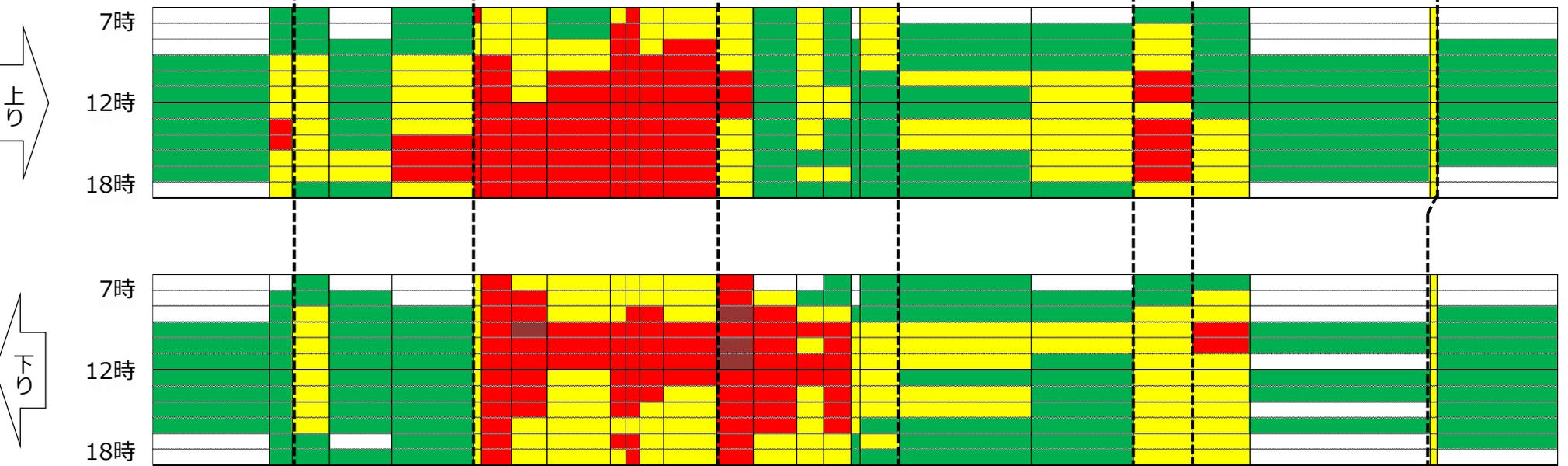
道路種別別の平均旅行速度



データ:ETC2.0プローブデータ 様式2-4(休日)
 データ期間:2019年5月(休日)、2020年5月(休日)、2021年5月(休日)昼間12時間

コロナ情勢に伴う交通状況分析(秩父周辺・国道140号)

○上り(休日)は、上野町交差点～押堀橋交差点などで速度低下が発生している。
○下り(休日)は、押堀橋交差点～上野町交差点などで速度低下が発生している。



時間帯別旅行速度ランク (km/h)
 0～ 10～ 20～ 30～ 40～ データなし

データ:ETC2.0プローブデータ 様式2-4(休日)
 データ期間:2021年5月(休日)昼間12時間

資料1-3: 国道17号の渋滞状況(他都県との比較)

○損失時間上位の埼玉県区間は、「上尾市役所前交差点～久保交差点」、「円阿弥(北)交差点～三橋二丁目交差点」の2区間。
 ○関連事業として、新大宮上尾道路(専用部)や上尾道路(Ⅱ期)等の事業を進めており、当該事業より渋滞緩和が期待できる。

直轄国道の損失時間ランキング(平成31・令和元年)

路線	順位	損失時間	平均交通量	延長(km)	所在地	区間名
国道17号	1	83	28,720	1.4	東京都	板橋本町駅前～志村警察署前交差点
	2	68	26,595	2.0	埼玉県	上尾市役所前交差点～久保交差点
	3	60	21,257	1.9	東京都	文京区境～西巢鴨交差点
	4	60	37,218	0.9	東京都	仲宿交差点～板橋本町駅付近
	5	60	44,133	0.7	埼玉県	円阿弥(北)交差点～三橋二丁目交差点

損失時間: 混雑により余計にかかる時間(単位: 万人・時間/年)
 平均交通量: 昼間12時間の平均交通量(単位: 台/12h)

参考: 国土交通省、直轄国道の交通状況ランキング(平成31年・令和元年)
 URL: http://www1.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/pdf/highway_ranking_r01.pdf



さいたま市中央区円阿弥付近

引用: 大宮国道事務所 事業概要 2022

直轄国道における推進事業

